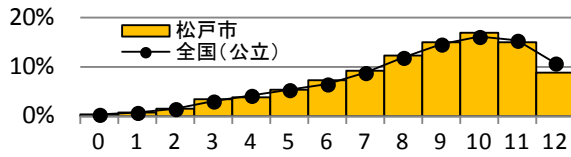


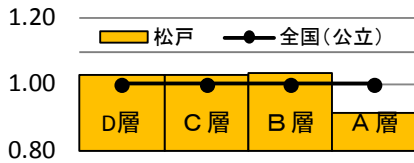
# 平成30年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小学校】国語・算数

## 正答数と4つの学力層の分布

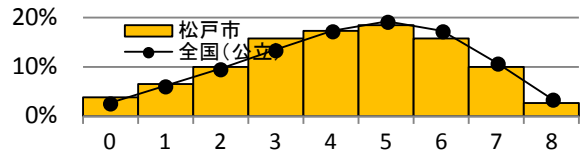
### 小学校 国語A



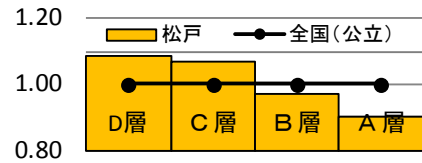
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～8問	9問～10問	11問～12問
松戸市	22.6%	21.4%	32.1%	23.9%
全国(公立)	22.0%	20.8%	31.1%	26.2%



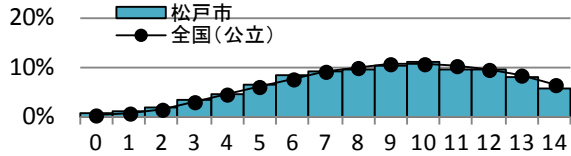
### 小学校 国語B



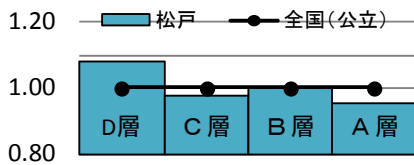
層	D層	C層	B層	A層
	0問～2問	3～4問	5問	6問～8問
松戸市	20.2%	32.9%	18.5%	28.4%
全国(公立)	18.6%	30.8%	19.1%	31.4%



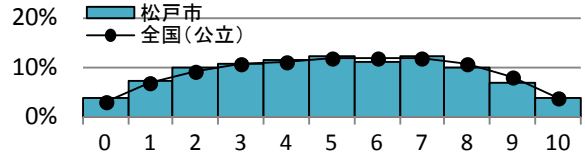
### 小学校 算数A



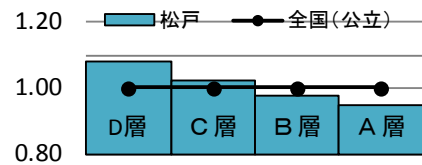
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～8問	9問～10問	11問～14問
松戸市	26.3%	18.8%	21.6%	33.3%
全国(公立)	24.3%	19.2%	21.6%	34.9%



### 小学校 算数B



層	D層	C層	B層	A層
	0問～2問	3問～4問	5問～6問	7問～10問
松戸市	21.2%	22.4%	23.4%	33.0%
全国(公立)	19.6%	21.9%	23.9%	34.7%



#### 【傾向と課題】

「正答数」について、国語、算数ともに、おおむね全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、国語、算数ともに、全国と比較してD層の割合がやや高くA層が低い傾向が見られるため、課題です。

#### 3年間の推移（全国平均を100とした指数）

標準化得点	国語A	国語B	算数A	算数B
28年度	100	100	100	100
29年度	100	100	99	99
30年度	100	99	99	99
全国(国公私)	100	100	100	100

#### 教科についての傾向と課題（各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す）

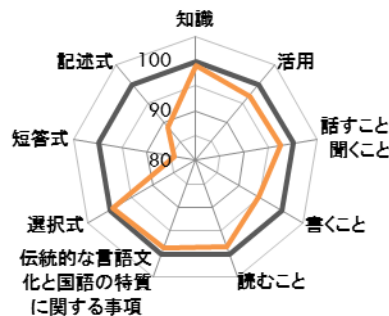
##### 小学校 国語

#### 【傾向と課題】

「知識」「活用」とともに全国を若干下回るものの、ほぼ同程度です。領域では「書くこと」、問題形式では「記述式」「短答式」が課題です。

#### 【改善のポイント】

文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く指導や、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめるような活動を位置づけることが大切です。



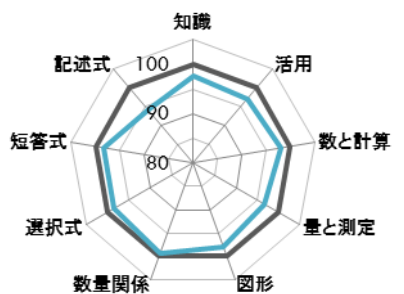
##### 小学校 算数

#### 【傾向と課題】

「知識」「活用」とともに全国を若干下回るものの、ほぼ同程度です。領域ではすべての領域で全国を下回っており、問題形式では「記述式」が課題です。

#### 【改善のポイント】

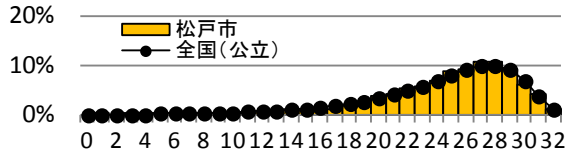
問題場面を的確に捉え、数量関係を図・表・数直線等に表すことができるようにすることが大切です。また、与えられた情報（表、グラフ等）を考察し、読み取れることを記述する活動を取り入れることが必要です。



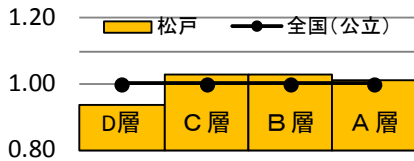
# 平成30年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】国語・数学

## 正答数と4つの学力層の分布

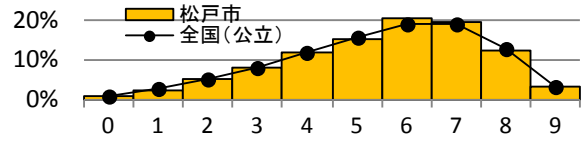
### 中学校 国語A



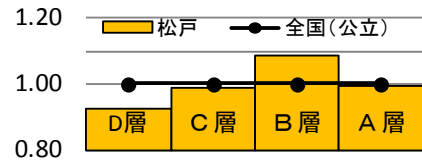
層	D層	C層	B層	A層
	0問～21問	22問～25問	26問～27問	28問～32問
松戸市	21.7%	26.7%	19.9%	31.7%
全国(公立)	23.2%	26.0%	19.3%	31.4%



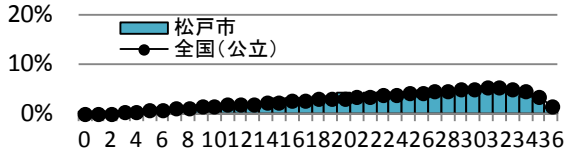
### 中学校 国語B



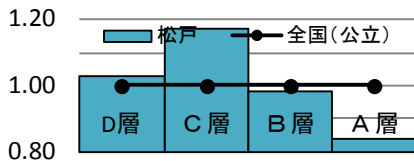
層	D層	C層	B層	A層
	0問～3問	4問～5問	6問	7問～9問
松戸市	16.2%	27.2%	20.8%	35.6%
全国(公立)	17.5%	27.6%	19.2%	35.8%



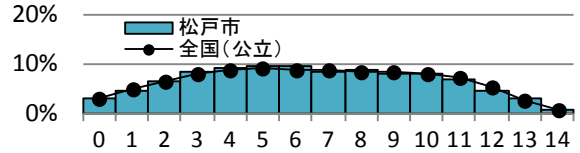
### 中学校 数学A



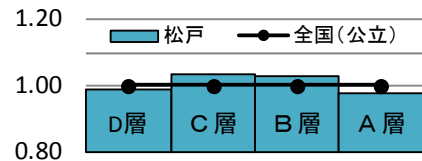
層	D層	C層	B層	A層
	0問～17問	18問～24問	25問～30問	31問～36問
松戸市	24.0%	27.7%	27.1%	21.2%
全国(公立)	23.3%	23.7%	27.6%	25.2%



### 中学校 数学B



層	D層	C層	B層	A層
	0問～3問	4問～5問	6問～8問	9問～14問
松戸市	22.5%	18.8%	27.1%	31.8%
全国(公立)	22.8%	18.2%	26.4%	32.6%



#### 【傾向と課題】

「正答数」について、国語、数学ともに、全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、国語A Bで、全国と比較してD層の割合が低くなっており、国語Bでは、B層の割合がやや高くなっており、底上げが図られています。

#### 3年間の推移（全国平均を100とした指数）

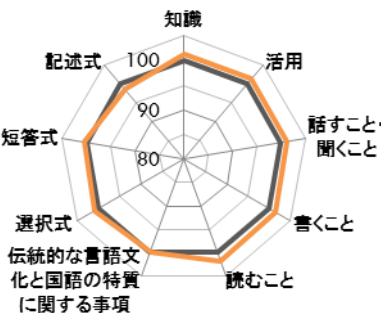
標準化得点	国語A	国語B	数学A	数学B
28年度	101	100	100	100
29年度	99	100	100	100
30年度	100	100	99	99
全国(国公私)	100	100	100	100

#### 教科についての傾向と課題（各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す）

##### 中学校 国語

#### 【傾向と課題】

「知識」「活用」とともに全国と同程度といえます。



#### 【改善のポイント】

発表やスピーチなどで、全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話したり、聞いたりする活動を増やすよう努め、既習のものも含めた漢字の読み書きの指導の充実を図ることが大切です。

##### 中学校 数学

#### 【傾向と課題】

全国と比べて、「知識」はやや下回り、「活用」は同程度といえます。領域別で課題となっていた「資料の活用」については、今年度は改善されています。



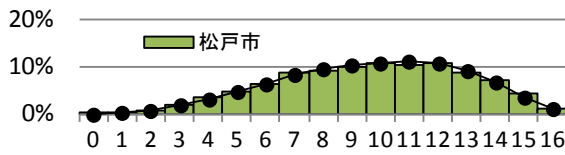
#### 【改善のポイント】

数学の用語（絶対値、相対度数等）の意味を十分に理解させることが大切です。また、問題場面を的確に捉え、数量関係を式・表・グラフ・ことば等で適切に表すことができるよう指導することが大切です。

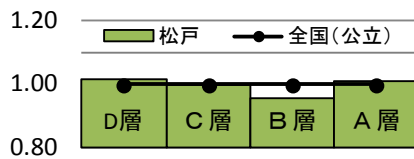
# 平成30年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小・中学校】理科

## 正答数と4つの学力層の分布

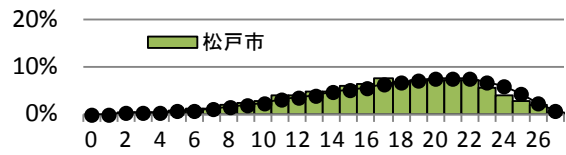
### 小学校 理科



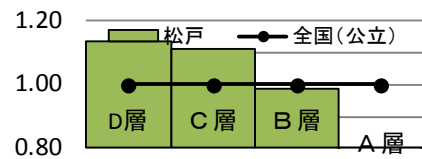
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問～11問	12問～16問
松戸市	18.3	28.2	21.2	32.1
全国(公立)	18	28.2	22.1	31.8



### 中学校 理科



層	D層	C層	B層	A層
	0問～13問	14問～18問	19問～21問	22問～27問
松戸市	23.7	31.8	22.1	22.2
全国(公立)	18	28.2	22.1	31.8



#### 【傾向と課題】

「正答数」について、小・中学校ともに、おおむね全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、中学校は、全国と比較してC、D層の割合が高い傾向が見られるため、課題です。

## 27年度との比較(全国平均を100とした指数)

標準化得点	小学校	中学校
27年度	99	99
30年度	100	99
全国(国公私)	100	100

## 教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)

### 小学 理科

#### 【傾向と課題】

「活用」では全国を若干下回るものの、ほぼ同程度です。

領域では「エネルギー」、問題形式では「短答式」が課題です。

#### 【改善のポイント】

「科学的な言葉や概念を理解できるようにする」言葉の意味を的確に捉えることができるように実際の自然の事物・現象に適用して説明する場面を設定することが大切です。また、科学的な言葉に置き換えて説明できるようにすることも大切です。



### 中学校 理科

#### 【傾向と課題】

「知識」「活用」ともに全国を下回っています。また、すべての領域で全国を下回っており、問題形式では、特に「短答式」が大きな課題といえます。

#### 【改善のポイント】

「科学的な言葉や概念を理解できるようにする」科学的な言葉に置き換えて説明できるようにすることが大切です。また、実験・観察における予想、結果の考察・分析等において、科学的根拠に基づいて行う場面を設定することも大切です。



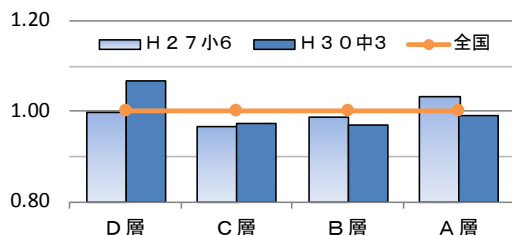
# 平成30年度全国学力・学習状況調査 同一集団の推移【H27小学6年生とH30中学3年生】

## 対象児童生徒数

	平成27年度 市立小学校の6年生	平成30年度 市立中学校の3年生	増減
国語Aを受けた人数	3,920名	3,485名	-435名 ※私立中学校への進学等による

## 標準化得点（全国平均を100とした指数）と4つの学力層の推移

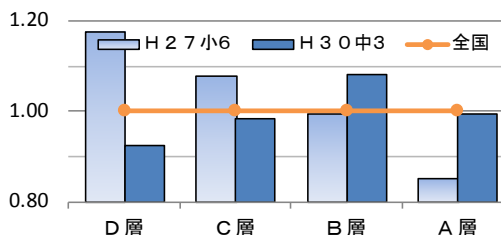
### 国語A



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H27小6	1.00	0.97	0.99	1.03
H30中3	1.07	0.97	0.97	0.99

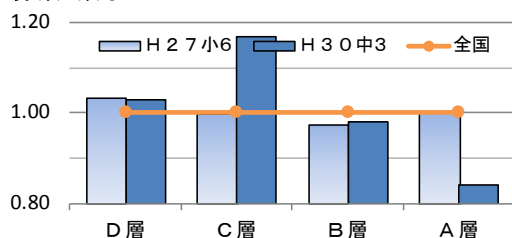
### 国語B



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H27小6	1.18	1.08	1.00	0.85
H30中3	0.93	0.99	1.08	0.99

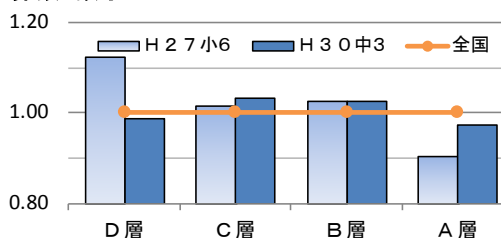
### 算数/数学A



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H27小6	1.03	1.00	0.97	1.00
H30中3	1.03	1.17	0.98	0.84

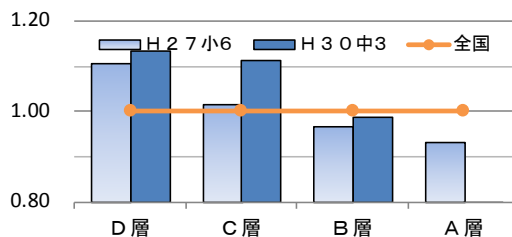
### 算数/数学B



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H27小6	1.12	1.02	1.03	0.90
H30中3	0.99	1.03	1.03	0.98

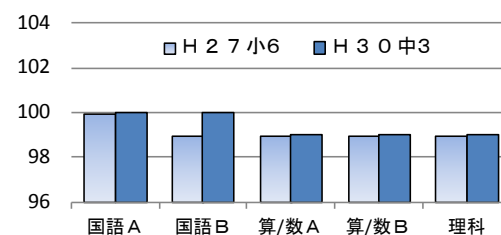
### 理科



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H27小6	1.10	1.02	0.97	0.93
H30中3	1.13	1.11	0.99	0.78

### 標準化得点



	国語A	国語B	算/数A	算/数B	理科
H27小6	100	99	99	99	99
H30中3	100	100	99	99	99

### 【傾向と課題】

標準化得点を比較すると、国語Bで向上が見られます。他教科については同程度の状況を維持しています。

4つの学力層を比較すると、国語A、算数/数学A、理科において、A層の割合が低くなっています。国語B、算数/数学Bにおいて、D層の割合が低く、A層の割合が高くなっています。

以上のことと、約1割の児童が小学校卒業後に私立中学校等へ進学したことを考慮すると、中学校では、学力層の底上げが図られているといえます。

## 平成30年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学力の関係

### 児童生徒質問紙から

以下と回答している児童生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。

国語、算数／数学、理科の授業では・・・

- 小 中 算数／数学、理科の勉強が好き（理科は中のみ）
- 小 中 算数／数学、理科の勉強は大切だと思う
- 小 中 算数／数学、理科の授業の内容がよく分かる
- 小 中 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- 小 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う
- 中 数学ができるようになりたいと思う
- 小 中 算数／数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
- 小 中 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている
- 小 中 算数／数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている
- 小 中 算数／数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
- 小 中 算数／数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている
- 小 中 理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている
- 中 理科の授業で、理科室で観察や実験をよく行っている
- 小 中 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている
- 小 中 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している
- 小 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返っている

教科の授業や学級活動では・・・

- 小 中 読書が好き
- 小 新聞を読んでいる
- 小 中 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- 小 中 学校のきまり（規則）を守っている
- 小 中 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる
- 小 中 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
- 中 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う
- 小 今、社会や自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思う

家庭では・・・

- 小 中 朝食を毎日食べている
- 小 中 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）勉強する時間が長い（学習塾等を含む）
- 小 家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- 小 中 家で、学校の宿題をしている
- 小 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしている

今回の調査では・・・

- 小 中 今回の算数／数学（解答を言葉や数、式を使って説明する問題）について、最後まで解答を書こうと努力した
- 小 中 今回の理科（回答を文章などで書く問題）について、最後まで解答を書こうと努力した
- 小 調査問題（国語A、算数AB、理科）の解答時間は十分だった

## 学力向上に向けて

### 学校では

- ◆学習規律（私語をしない、話し手の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守る、忘れ物をしないなど）の確立に努める
- ◆授業においては目標（めあて・ねらい）を示し、まとめや振り返りの活動を取り入れる
- ◆「学習した内容」と「普段の生活や将来」を結びつけた、まとめや振り返りの活動を取り入れる
- ◆児童生徒が自ら「学習したい」「知りたい」と意欲がわく、導入などでの内容の工夫・改善をする
- ◆話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような指導を工夫する
- ◆授業では次のような場面を設定し、言語活用科の学習で身につけたスキルを活用できるようにする
  - ・自分の考えを書いたり、発表したりする場面
  - ・理由や根拠を説明する場面
  - ・相手の考えを最後まで聞き、整理する場面
- ◆問題を解き方がわからなくても、最後まで諦めず、いろいろな方法を考えるよう指導する
- ◆家庭学習の充実に向けて、家庭との連携を図る
- ◆実態を捉えた研修の充実を図る

### 家庭では

- ◆朝食を食べることや決まった時間に寝起きすることなど生活習慣を身につける
- ◆学校の授業時間以外に勉強する時間を確保する
- ◆計画を立てて、宿題や授業の復習をする
- ◆携帯電話・スマホ、テレビ、ゲーム等の時間を調節できるよう約束を決める
- ◆本や新聞を読む習慣をつける
- ◆家族で学校での出来事、ニュースや地域の出来事を話題にする

### 教育委員会では

- ◆学校における学力向上を目指した取り組みを積極的に支援する
- ◆教員の指導力向上を目指した効果的な研修を実施する
- ◆言語活用科を軸とした学習システムを構築し、教科の学習に活用が図られるようにする
- ◆全国学力・学習状況調査の分析結果を情報提供し、各学校における実態分析や指導改善を推進する